

ご飯作るのって結構大変！ 通学合宿で小学生が貴重な体験

11月16日から19日にかけて、郡浦市民館（三角町）で平成17年度青海小学校通学合宿が行われ、4～6年生31人が参加しました。

通学合宿とは、子どもたちが家庭を離れて宿泊し、食事や洗濯・掃除などの身の回りのことを自分たちで行いつつ学校に通うことです。現代の子どもに不足している日常生活の基本を体験し、生きる力を育てることを目的に、市教育委員会・市青少年育成市民会議が今年初めて実施しました。

合宿中は婦人会員やメディカル・カレッジ青照館（三角町）の学生がボランティアとして運営に協力。子どもたちは「自分で作ったご飯はおいしいね！」と口々に言いながら、お代わりをしていました。2日目は、近隣の住宅（12軒）を訪問し、入浴させてもらう「もらい湯」も体験。

子どもたちはこの合宿で得た貴重な体験を、今後の日常生活に生かしてくれることでしょう。



真剣な表情でコンスープ作りに挑戦



洗濯もちろん自分たちでやったよ！

火災に対する正しい知識を 女性消防団員が保育園を防火訪問

11月14日、市消防団女性分団の小川女性部が小川町内の6保育園を防火訪問しました。

紙芝居を通じて、園児たちに火の持つ恐ろしさを知ってもらい、幼年期から、最低限の火災に対する正しい知識とその対応を身に付けてもらうことが目的。団員手作りの紙芝居に、園児たちは興味深く聞き入っていました。

今後も女性分団では、独居老人宅防火家庭訪問や初期消火訓練など、地域に密着した火災予防啓発運動を行っていきます。



楽しみながら火災に対する知識を身に付ける園児たち

理容師一筋58年 増井さんが厚生労働大臣表彰を受賞

このほど、松橋町大野の増井勝廣さん（74歳）が、生活衛生の普及向上に功績のあった人に対して贈られる厚生労働大臣表彰を受賞しました。

理容師である増井さんは、昭和22年、父親が経営していた理容店の後を継ぎ、衛生施設の改善向上、経営の健全化に尽力。熊本県理容生活衛生同業組合理事、熊本県理容環境衛生同業組合組織担当常任理事などを務め、組合の組織の近代化、組織力強化に多大な功績を残しました。

「とても光栄な賞を頂き喜びに堪えない」と増井さん。「昔に比べると今は休みが十分に取れ、職場の環境は随分良くなりました。お客さまにくつろぎの場を提供し、気持ちから癒やしてあげられるやりがいのある仕事で、やっていて本当に良かった。今後は後輩に役職を譲り、業界発展のため頑張りたい。」と語りました。



ウイングまつばせ（11月2日・3日）



小川総合文化センター（11月2日・3日）



不知火公民館（11月2日・3日）

季長公ゆかりの地での射る 竹崎季長公顕彰弓道大会

10月30日、小川町仮設弓道場（屋内機能訓練施設）で開催されました。

市内外の学生や一般の約120人が参加。選手は静まり返る会場で精神を集中させ、28m先の的に矢を放ち、技術を競いました。

結果は、団体学生の部で不知火中学校Aが優勝、小川工業高校Aが2位、不知火中学校Bが3位と地元勢の活躍が目立ちました。

小川中の生徒たち
精神を集中させる的を狙う



宇城市文化の花開く 5会場で市民文化祭を開催

宇城市文化協会、同各支部主催の第1回宇城市民文化祭が、市内の5会場で開催されました。

日舞や民謡、ダンスなどのステージのほか、書や絵画、作品の展示があり、来場者たちは宇城市の文化を満喫しました。



三角センター（11月6日）



豊野公民館（11月3日）

不知火小が郵政公社総裁表彰 優良こども郵便局

このほど、日本郵政公社の「優良こども郵便局」の中央表彰式が同社（東京都）であり、不知火小学校が総裁表彰を受賞しました。

「こども郵便局」は、貯蓄の実践活動を通じて、児童・生徒に対する貯蓄思想の普及を図るために同社が行っているものです。

表彰式に出席した児童代表の木下紗織さんは、「貴重な経験ができて良かった」と感想を語りました。

表彰式に出席した3人。左から松下政春亀尾郵便局長、木下紗織さん、田端功教頭

